

特

軍司

參謀長

高級參謀

主任參謀

參謀

部

野原

部

**極秘**

# 對比宣傳情報

取 扱  
注 意

本情報ハ部隊ニ於ケル  
宣傳關係者ヲ務上ノ爲  
考ニ供スルモノトス

(第 十 九 號)

(昭和十九年九月十旬號)

南方軍報道部

9223

1970

對比宣傳情報目次

注	
本情報ヲ宣傳上利用スル場合	ニ於テハ生文ノ儘利用スルコ
トヲ選クルモノトス	トス
尙傍線ハ極秘扱トス	

第一、東インドに對する將來獨立許與の言明

(一) ラウレル大統領の談話

(二) ジャヤワ中央參議員ヌカルノ氏感辭の辭

第二、敵對對比宣傳動向

(一) 日獨敗戦必至の強論

(二) 逆襲の活躍に就て

第三、一般參考情報

1971

國立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

第一、東インドに對する將來獨立許與の言明

小磯首相が第八十五臨時議會に於て東インドに對し將來獨立を許與する旨言明したことは道義日本の誠實な眞意を明確化したものとして比島民間に大きな感銘を與へたが、ラウレル大統領は八日談話を發表、是こそ大東亞宣言の具體的顯現であり道義日本にして始めて爲し得るところであると絶賛し、東亞十億民族が眞に解放せらるる爲には日本の戦争完遂に全力を擧げて積極的協力を行ふべきであると一般に要望するところがあつた。

(一) ラウレル大統領談

第八十五臨時議會で小磯首相が東インドに對する獨立許與の確約を與へたことは大東亞宣言の誠實なる具體化であり、全亞細亞民族の解放を念願とする指導國家日本の眞意を決意の顯現である、

1972

此の歴史的な言明の裡に米國の桎梏から解放され今や自由を享受しつゝある比島民族は自己の獨立に對するいま一つの保障を請み取ることが出来る、我々比島人は此の嚴然たる事實を通じ、大東亞戰爭完遂の爲總力を擧げて戰爭協力に邁進すべく新たな覺悟を持たねばならぬ。

(二) ジャワ中央參議員長スカルノ氏感謝の辭

(ジャカルタ八日發同盟)

輝く獨立認容の朗報に接した中央參議員長スカルノ氏は七日午前ジャカルタ放送局のマイクを通じて左の如き感謝の辭を行つた。

「本日私達四千万インドネシヤ民族は大日本帝國が東インド民族永遠の福祉を確保する爲に將來獨立することゝ認容すると云ふ小磯首相の議會演説を得た、此の報を得て先づ第一に感じたことは

1973

畏くも 天皇陛下の宏大無邊の大御心に對し奉り恐懼おくとこ  
ろを知らざる感激であつて、聖慮に依つて私達は益々大東亞の家  
族の一員であるとの認識を深めた次第である。

數日前私はインドネシヤ民族としての挨拶を日本に送つたのであ  
るが、その時私は「私達は今次戦争に於て日本に協力する所以の  
ものは日本が道義に基いてゐるからである」と云つた、私達は數  
世紀に亘り民族としての獨立を念願して來たこの理想こそ私達が  
久しきに亘つて背後に米英の後楯を恃んだオランダ帝國主義に抗  
して闘ひ來つた根本理念である。

されば大日本帝國が東インドに對する將來の獨立を認容されたこの  
時に當つて私達は愈々大日本と飽くまで同生共死、最後の勝利獲  
得に邁進する覺悟を固めたのである、インドネシヤは飽くまで戦  
ひ抜かうとする用意を持つて居り、最後の決戦の爲犠牲を捧げん  
とする用意を持つてゐる。

1974

## 第二、敵側對比宣傳動向

敵側の對比宣傳動向は前旬と大差をきも歐洲戰線の微妙なる推移と太平洋戰線に於ける敵の驕勢に乘ずる宣傳は益々募り、比島解放の機目睫に至れりと爲す宣傳戦に執拗にして戰局已に然に決定的勝利を獲得せるが如き印象を與へしむるに努めあり。

今朝にありては

- (一) 日本に於ける船舶、軍需物資の缺乏を諷ひ、又現内閣の失敗を捏造して日本の敗北、比島解放の日遠からざるを強調す。
- (二) 作戦的解説に依り比島解放の愈々眞近きを強調す。
- (三) 米海軍首腦者の言動を藉り太平洋航空作戦の優位を強調す。
- (四) 小磯内閣に對する批判、日本政治力の弱体化、逼迫化を強調す。
- (五) 諸國に於ける遊撃隊の活動盛りを解説し比島人の喚起を促す。
- (六) 聯合軍諸將領の言動を引用して、彼が勝利の裡に戰爭早期終結を豫言し、比島人の志氣を鼓舞す。

1975

(出) 帝國の臨時議會に對する揶揄的批判等其の主たる動向である。

一、二の例

(一) 日獨敗戰必至の強調

(桑港五日對比放送)

著名なる米軍事評論家 G. P. エリオット少佐は今次歐洲大戰五周年記念日に際し次の如く語つた。

「今や獨乙は滅亡に瀕し日本の敗北も又近きにある。過去五ヶ年に亘り人類史上最も怖るべき戦争が遂げられたるも米國及其の聯合國は今日各戰線に於て勝利に向ひ奮進中なり、獨乙の勝利に對する自負は失はれ其の船艚は撃沈され軍隊は破滅に瀕せり、他方日本は益々増大する米軍勢力の爲大打撃を受け其の敗亡の日は近し日本の内廓防禦線は東京を距る一、五〇〇哩の地域に縮少され日本國民は今や米空軍の爆撃の雨を覺悟するに至れり」と、東京よりの報道は

1976

「米軍は既にサイパン島に航空基地の設定を完了せり、今や米軍はマリアナ諸島及サイパン島の強力なる航空基地に依り日本に對し最後の決戦を挑みあり、米航空作戦の第一目標は日本々土に對し大爆撃を敢行し之を破壊せしむるに在り、同時に中部太平洋作戦に依り比島の占領更に南支那に主力を上陸せしめ、斯くして日本々土と南方諸地域との交通線の遮斷を企圖しあり、之は日本の軍需生産に對し大打撲を與へるものなり」と

去る八月十五日在華府比島政府大統領オスメニア氏に依り比島解放委員會の唯一の女性として委員に選出せられたるP・H・リム夫人は新聞記者團との會見に於て次の如く語れり。

「戦争が聯合軍に有利に進展したので私達は比島に歸還準備をしてゐる、比島の現状に就ては正確なことは知らぬが私達の故國が日本に占領されたため荒廢してゐることはよく承知してゐる、比島の生産物が悉く日本に送られるため母國の商業、貿易、工業等

1977



はその販路を失ひ停止されてゐると

(二) 遊撃隊の活躍に就て

(桑港二日放送時局解説)

加奈陀紙は最近次の如く指摘した。

日獨兩國は今回の戦争で遊撃隊の如何に恐るべきかを充分に認識したことも思ふ、例へば聯合軍の北佛作戦の順調に進捗されてゐるのは佛蘭西の反獨遊撃隊の活躍に負ふところ頗る大であつて、佛蘭西の廣範な地域は彼等に依つて獨軍から解放され今や彼等の協力は聯合軍にとつて缺くべからざるものとなつた。

蘇聯に於ては遊撃隊の活躍は特に目覺しく赤軍に協力して偉大な役割を演じてゐる、

即ち蘇聯背後に於て莫大に獨軍の武器彈藥を鹵獲したり、無敵の橋梁、車輛及び戦車等を爆破して獨軍の使用を妨害して勳功を擡てたものが多い。

1978

支那にあつても亦遊撃隊は屢々日本軍の作戦を妨害し又各地に於て自衛軍に協力して日本軍占領地を奪回した。『チエコスロバキア』政府の聲明に依れば反逆愛國者は既に幾んどスロバキアの全土を奪回するに至つたため獨逸は鐵軍を出動せしめて目下遊撃隊の鎮壓に大意である。彼等は全世界の反日、反獨の愛國者の賞讃に値する斷乎たる決意を以て闘争を繼續するであらう。樞軸國に脅威を與へる斯の機を祖國の防護者を以て任ずる職工、學生、教師、醫師、法律家、技師、家庭婦人等の一般人から編成されるものであつて彼等の都市を彼等の自身の力で侵略者の破壊から救ふことが出来る場合は何時でも隆起するものである。云々

1979

第三、一般参考情報

(一) 開戦以來英國領土内に於ける損害

(倫敦三日發英國公報)

今次歐洲大戦開始以來五ヶ年間に於ける英國側死傷者數左の如し

(イ) 戦死者數 二四二、九九五名

行方不明者數 八〇、六〇三名

負傷者數 三一、五〇〇名

捕虜 二九〇、八六三名

小計 九二五、九六五名

(但し英國全領土内に於ける損害數)

(ロ) 空襲に依る市民死傷者數 五六、一九五名

負傷者及入院者數 七五、八九七名

(但し英本土のみの損害數)

(ハ) 英國籍商船乗組員死傷者數 二九、三八一名

1980

(二) 敵國抑留者数

小計

四、一九二名

三三、五七三名

總計

一〇九一、六二八名

(二) 米海兵隊及沿岸防備隊の損害

(桑港三日發 A G P 電)

米海軍省の發表に依れば三日迄の米海兵隊及沿岸防備隊の受けし損害は五九、〇二七名にして内譯は死者二三、六七六名、負傷者二一、二四二名、行方不明九、六四三名、捕虜四、四六六名なり

(三) 獨乙、最後の勝利を確信

(伯林三十日發 D N B)

戦争第六年目に入りたる今日聯合軍の攻勢が効を奏するか獨軍よく之を制して勝利を占むるかと謂ふ重大なる岐路にある、然し獨乙の空軍部隊及新秘密兵器の攻撃は聯合軍に大損害を與へ一九四四年の九月若くは十月中に獨軍が敗退すると云ふ予言の誤りなる

ことが判明する時が来るであらう。

獨の軍部及び政界筋は戦局が獨乙に有利になることを強調してゐる、即ち聯合軍の敗戦は確實である、之に關し最も重要なことは對日戦は未だ開始されてゐないと云ふことである。

歐洲に於ける長期戦で疲弊した聯合軍が引續き長期の對日戦を行ふなら聯合國の政治家連中はその作戦に對し不信任を突きつけるであらう。

日獨は開戦以來本大戦か生死を賭したる鬭争である事實を充分認識してゐる、國民の生命を保持しようとするには勝たねばならぬことを知つてゐる、此の兩國の士氣を昂揚せしめてゐるのである。

#### 四 對日攻勢の困難性を米國民に警告

(桑港卅一日發AOP電)

米海軍長官フォレストルの記者團會見に出席したるフォレストル。

1982

P. シヤーマン少將（註IIニミッツ大將附參謀長代理）は對日攻勢に關し次の如く語り  
「獨乙の崩壊は太平洋方面聯合軍の兵力増加を可能ならしめ、對日攻撃作戦を尙一層進捗せしむるであらう、然し米國民は此の兵力移動が一夜潰て行はれると考へてはならない、太平洋作戦に於ては大規模作戦を支持する良港が多くないことを想起しななければならぬ。」

(四) 米國ゴム不足愈々深刻

（伯林一日發り電）

マドリツド紐育バス會社はゴム不足のため九月中別命あるまでマ  
ンハツタン—ブロンズ間のバス運轉を中止するの余儀なきに至  
つた。主務官廳の言明に依れば米國は今やバス及び貨物自動車用  
タイヤの不足のため深刻なる危機に直面してゐる」と。

(六) 支那大陸B29基地の補給困難に悲鳴

1983

(リスボン五日發同盟)

ワシントン來電 I 米陸軍省は五日 B 29 の作戰を指揮してゐた陸軍第廿航空隊參謀長代將ハンセルが海外に於ける新任務に就きその後任にロリス・ノースクツドが任命された旨發表した、ハンセルは辭任に當り第二十航空隊の作戰につき次の通り語つた。

B 29 が現在までの作戰で受けた損害は大きかつたことを認めなければならぬが此の損害も漸次減少しやう、又 B 29 の對日攻撃も頻繁に行はれてゐないか、此の原因は重慶地區の基地に對する補給が充分でないためである、併し此の補給の問題も間もなく部分的乍ら解決することが出來やう、結局此の當分の間は B 29 を毎日出動させるやうなことは先づ出來ない。

(七) 米英兩國の相剋相次ぐ

(リスボン一日發同盟)

ワシントン來電 II 歐洲侵攻反樞軸軍附米人政治顧問アイリツクス

が英國の印度政策を攻撃した理由で英國政府から排斥を受け、遂に米國に引揚げた事件は米英兩國間の重大政治問題と化するに至つた、共和黨下院議員カルビン・ジョンソンは一日之に對する米國の報復を主張、次の決議案を議會に提出した。

英國政府がフリッツプスを一望ましからざる人物としてロンドンからの引揚げを要求した以上米國政府としても當然これに對する報復措置に出るべきだ、差し當り政府はワシントン駐劄の英國公使キャンベル及び印度公使ジャンカール・バヤラを一望ましからざる人物として米國から引揚げることを要求すべきだ、フリッツプスの指摘した如く印度問題紛糾の責任は總べて英國政府にあり、英國が現在の如き印度政策を續くる限り印緬方面に於ける反樞軸軍の作戰にも重大な支障を與へよう。

一方ワシントン駐劄英國大使ハワード・カークはフリッツプス召還問題が米國政界の重大問題化したのに周章狼狽して一日左の釋明

1985

國立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>



聲明を發表した

フイリツプスの米國召還が英國政府の要求によつて行はれたとの印象が米國內で深まつてゐるのは遺憾である、フイリツプスの場合は勿論、英國政府はいままで一度も英國に派遣された米國使臣に對してその退去を要求したことはない

(八) 米國の炭鑛罷業重大化

(リスボン發同盟)

ニューヨーク來電ハペンシルヴァニア中部地方の炭鑛に發生した炭鑛夫罷業は忽ちにしてペンシルヴァニア全州は勿論ウエスト・ヴァージニヤ州にも波及して四日には更に九千六百名の炭鑛夫が新たに罷業に参加した、形勢樂觀を許さず事態が悪化すれば昨年の炭鑛大罷業の再現さへ豫想されてゐるが、ル大統領は既に十炭鑛を政府に接收したのに加へ四日には更に多數の炭鑛を接收した、大統領の炭鑛接收は從來罷業が現實に發生してゐるもののみに限

1986

られたが、四日の接收命令は労働者が不穩の態勢を示してゐる炭  
鑛をも含んでゐる。

1987

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>